

神奈川私学保連 NEWS



つづけること

神奈川県私学保護者会連合会 会長 佐藤 昭

(横浜創英中学校高等学校後援会 後援会会長)

新年度に入り新しい学校生活を迎えた保護者の皆様もいらつしやることと思います。ご入学おめでとうございます。また、日頃から私学保護者会連合会の活動にご協力をいただいている皆様、今年度もよろしくお願いします。

横浜育ち浜っ子の私ですが以前、お世話になった恩師の話を思い出しました。

横浜の歴史をたどると、江戸時代の横浜には200を超える村々が存在し、江戸幕府を中心として、安定した社会が続いていました。一八五四年神奈川条約(日米和親条約)が締結され、一八五九年の横浜開港へと歴史が動くこととなります。この時代に生き、後生の偉人に影響を与えた私と同姓ではありますが、佐藤一斎という学者であり教育者がいました。

佐藤一斎は、江戸末期の儒学者であり、江戸幕府の学問所、「昌平坂学問所」の教官となり、88歳で他界するまで、同学問所の学問と教育を主宰した人物です。

特に、自らの人生の経験と学問修養とそれに基づく思索をふまえて書き始め、50代から80代まで、学問修養と人生経験をさらに深めながら40年にわたって書き

記した『言志四録』は全体が条文の形式で作られています。

一斎の人間としての学びの修養・工夫からにじみでた随想録、人間としての在り方生き方を指南した人生の書として、時代を越えて多くの人々に読み継がれてきました。特に西郷隆盛は『言志四録』を絶えず座右に置き、自らの行動の指針としました。また『武士道』の著作で知られる新渡戸稲造も引用しました。元総理大臣の小泉純一郎さんは尊敬する人物に、幕末という混乱期に命を懸けて自らの信念を貫き通し、高杉晋作ら多くの人材を世に出した教育者として吉田松陰をあげています。佐藤一斎も同様に尊敬する人物で、学びつづけることの大切さを当時の衆議院で、教育関連法案の審議中に『言志四録』を引用し、「若くして学べば、大人になって世のため、人のために役に立つ人間になる。壮年(氣力が充実している年齢)になって学べば、年をとっても衰えない。いつまでも活きいきしていただける。年をとって学べば、死んでもくさらない。その精神は永遠に残る。」と紹介しました。

これは、子供のころからしっかり勉強

しておけば、大人になって重要な仕事をするができる。大人になってからも更に学びつづければ、老年になってもその力は衰えることがない。老年になっても学ぶことをやめなければ、死んだ後も自分の業績は残り次の人々にも引き継がれていくことを言っています。

学びつづけることの重要性を小泉さんは指摘し「自分が楽しむのと同時に、公のために尽くすことに喜びを感じる公私半ばする人間が望ましい」と強調し、「一度や二度の失敗にくじけず、自らの役割を見いだすことができる社会の実現が、政治でも教育でも大事だ」と話していることに、とても共感しました。

ぜひ、皆様のお子様に目標を立てていただき、たとえ小さな目標でも良いと思いますが、つづけることを大切にする日常生活を送るようにお話をしてください。

つづけていくということを共有していきましょう。

5月20日(金) 崎陽軒本店で「平成28年度定時総会・研修会」が開催されます。多くの会員皆様の参加を期待しています。

神奈川県私立中学校・高等学校振興大会

平成27年11月24日(火) 午後15時～16時30分 パシフィコ横浜 会議センター メインホール

「神奈川県私学振興大会」を開催しました。

当日は、県知事の黒岩祐治様をはじめ、多くのご来賓の皆様をお迎えし、国会議員19名、県会議員46名、県知事部局3名に出席していただきました。

また、82校の全加盟校から理事長・校長・教職員及び保護者等1,006名が出席し、出席者の合計は1,074名となりました。

主催者代表あいさつ

一般財団法人 神奈川県私立中等高等学校協会
理事長 工藤 誠 一

(聖光学院中学高等学校理事長・校長)

本日は黒岩祐治神奈川県知事、土井隆典神奈川県議会議員、神奈川県私学審議会会長・中村省司議員をはじめ、多数の県会の皆様、本県選出の国会議員の皆様においでいただき、さらには松森県民局長をはじめとする神奈川県担当部局の皆さんにもご出席いただいております。今年で三年続けて神奈川県私学振興大会を開催できる運びとなりました。神奈川県私学協会加盟八十二校、本日はこの会場にすべての学校から保護者、職員の皆様が駆けつけていらっしゃいます。

神奈川県は、日本において近代私学の発祥の地という輝かしい伝統を持ってあります。私学各校、建学の精神に基づいた教育方針を掲げ、特色ある教育を実践し、その結果として新たな時代を担う人間性豊かな逸材を数多く輩出することで、教育の充実発展に貢献して参りました。また同時に、我々私学に寄せる神奈川県民の期待と評価は極めて高く、現在では県下高校生の三分の一以上が私学に学んでおります。私も私立学校はそのような県民の皆様の期待と多様化する社会の変化に応えるため、たゆまぬ努力を今日まで重ねてきました。さらなる神奈川県民の付託に応え、充実した教育を行う



ためには、安定した経営が必要不可欠であります。そしてその基盤となるのは、経常費、補助金、あるいは子供たちが自由に学校を選ぶ、経済的な理由で私学に進学することを断念してしまうことがないように、学費の補助や奨学金の

充実を図っていくといったような政策の実施ではないかと考えます。

最近では公立学校が中等教育学校や高一貫校を設立しています。こうした現実を垣間見るとき、かつては「義務教育であるから、私立の中学校の生徒への学費軽減などの措置を講じる必要はない」といった意見もありました。しかし、こういった公立学校の動向をみまると、たとえ義務教育であっても、私立中学校の生徒に対して学費補助がなされてもよろしいのではないかと考えております。

神奈川県私学助成がどのようになっているかを皆様と確認したいと思っております。お手元の資料を見ていただきますと高等学校経常費助成の生徒一人あたりの額が出ています。平成二十七年年度の一歩は鳥取県で四十六万八千余円、二番目が東京都で三十八万四千余円です。神奈川県はそれよりもずっと下の方で、二十九万八千余円です。ため息が出ます。

中学校の方は、鳥取県四十八万六千円、福井県三十八万七千円、東京都三十六万一千円、神奈川県は一番下で二十一万五千円。生徒一人あたりの補助金がかついった状況です。

国から言われて補助する金額を財政措置額といいます。高等学校の場合、財政措置額三十二万九千三百二十九円、国から地方交付税交付金という仕組みで出ている金額は三十二万円。ところが私学がいただいている金額は二十九万八千円しかありません。中学校にいたっては、措置額三十九万九千円のうち二十一万円しかない。この生徒一人あたりの財政措置額を改善できれば、子どもたちの環境をますます充実させることができるでしょう。あるいは子どもたちの環境を素晴らしいものにしていくことができるはずだと私は考えています。

こうした願いを、皆様方とともに、ここにいらつしやる県会、国会の先生方に力強く届ける。それが今日のこの場であります。少なくともここに臨席の皆様は、神奈川の私学を応援しようという気持ちでかけつけて下さっていることと拝察します。ぜひ皆様方からのご支援、ご協力を賜れますよう、保護者の皆様も声を高らかにしていただきたいと思います。

我々私学はいかなる時代においても変わることなく、今後多

くの皆様の要請に応え、個性豊かで将来を担う人材を育成して参りたいと思います。近代私学発祥の地で、先人から引き継いだ教育の先駆者としての役割と責務を、改めてここに強く決意する次第です。今後とも皆様方からの神奈川私学に対する絶大なご支援ご協力のもと、共に歩むといった姿勢で臨んでいくことが大切だと考えております。皆さんで一致協力し、私どもの子弟の教育環境を一層整えていこうではありませんか。どうぞよろしくお願い申し上げます。

来賓あいさつ

神奈川県知事 黒岩 祐治

神奈川県私立中等高等学校振興大会がこのように盛大に開かれ、誠にめでたうございます。私も骨の髄まで私学の男でありまして、私学の素晴らしさを信じている人間でございます。そうであればこそ、それぞれの学校の建学の精神を大切に、すばらしい教育実践をされている皆様から敬意を表すものであります。神奈川県は近代私学発祥の地と言われている。これを私は誇りに思っており、しっかりと育てていかなければという強い思いを持っております。その中でこの神奈川を担う若者の学びの機会を確保することは大変重要であり、公立学校とともに公教育の一端を担っている私立学校への助成は、本県にとって重要課題の一つであると認識しています。

この認識のもとに県ではこれまで学校運営の経常経費の補助、助成や保護者の皆様の学費負担の軽減を図るための補助により私立学校の振興を図ってまいりました。この中で「県の教育の在り方を検討する神奈川の教育を考える調査会」から平成 年8月に提出された、最終まとめでは、私立学校への経常費補助について、各校の魅力向上や生徒の確保に向けた努力が反映される補助方式の早期着手を提言がされました。この提言を受け、県は学識経験者、私学関係者などから構成される神奈川県私学助成制度運営協議会において検討し、今年度から学校の特色ある取り組みに対して新たな助成を始めた。具体的には体育、文化活動で全国大会出場など顕著な成績を収めた学校や学校安全の取り組みとして非常食や飲料水の備蓄を行う学校に対し、経常費補助に一定額を加算しております。また、県独自の学費補助につきましても、これまで低所得世代から段階的に補助制度の充実を図り、高校進学を控えた子供たちの進路選択の幅に寄与してまいりました。今後も県では私学助成につきまして各学校の魅力向上や生徒の確保に向けた努力が反映されるよう補助方式の検討を進めてまいります。



下ではありますが、今後とも神奈川私学の振興のため引き続き努力をしてまいりますので皆さまにおかれましては子供たちの未来のため、神奈川の私学一層の発展のため、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。わたくしからのご挨拶とさせていただきます。

国会議員・県議会議員出席者(本人または代理)

(1) 国会議員 (衆議院) 14名 *出席連絡をいただいた皆様

氏名	会派	選挙区	備考
菅 義偉	自由民主党	横浜市区・港南区・南区	代理
小此木 八郎	自由民主党	横浜市鶴見区・神奈川区	代理
坂井 学	自由民主党	横浜市戸塚区・泉区・瀬谷区	代理
鈴木 馨祐	自由民主党	横浜市港北区・都筑区	代理
田中 和徳	自由民主党	川崎市川崎区・幸区・中原区	代理
小泉 進次郎	自由民主党	横須賀市・三浦市	代理
星野 剛士	自由民主党	藤沢市・高座郡	代理
甘利 明	自由民主党	大和市・海老名市・座間市・綾瀬市	代理
中山 展宏	自由民主党	比治区	代理
笠 浩史	民主党	川崎市多摩区・麻生区	代理
上田 勇	公明党	横浜市区・保土ヶ谷区	代理
古屋 範子	公明党	比治区	代理
篠原 豪	維新の党	比治区	代理
水戸 将史	維新の党	比治区	代理

(2) 国会議員 (参議院) 5名

氏名	会派	選挙区	備考
島村 大	自由民主党	選挙区制	代理
三原 じゅん子	自由民主党	参院比例	代理
金子 洋一	民主党	選挙区制	代理
牧山 ひろえ	民主党	選挙区制	代理
佐々木 さやか	公明党	選挙区制	代理

(3) 県議会議員 46名

氏名	会派	選挙区
相原 高広	県政会	川崎市麻生区
赤井 かずのり	公明党	平塚市
芥川 薫	自由民主党	座間市
あらい 綱世	自由民主党	横浜市磯子区
飯田 満	維新の党・無所属	川崎市宮前区
石川 巧	自由民主党	三浦市
石川 裕憲	民主党・かながわクラブ	川崎市麻生区
市川 和広	自由民主党	藤沢市
市川 よし子	民主党・かながわクラブ	川崎市幸区
いとう 康宏	民主党・かながわクラブ	横浜市区
梅沢 裕之	自由民主党	横浜市神奈川区
小川 久仁子	自由民主党	川崎市高津区
加藤 元弥	自由民主党	横浜市区
神倉 寛明	自由民主党	秦野市
亀井 たかつぐ	公明党	横須賀市
茅野 誠	民主党・かながわクラブ	横浜市磯子区
川崎 修平	自由民主党	横浜市鶴見区
河本文雄	自由民主党	相模原市中央区

川本 学	自由民主党	川崎市中原区
岸部 都	民主党・かながわクラブ	横浜市区
京島 けいこ	民主党・かながわクラブ	相模原市南区
桐生 秀昭	自由民主党	横浜市区
国松 誠	自由民主党	横浜市区
国吉 一夫	自由民主党	横浜市区
小島 健一	自由民主党	横浜市区
作山 友祐	民主党・かながわクラブ	横浜市区
嶋村 ただし	自由民主党	横浜市区
新堀 史明	自由民主党	横浜市区
杉山 信雄	自由民主党	川崎市川崎区
鈴木 ひでし	公明党	横浜市区
瀬戸 良雄	自由民主党	南足柄市
たきた 孝徳	民主党・かながわクラブ	川崎市中原区
竹内 英明	自由民主党	横須賀市
武田 翔	自由民主党	横浜市区
田中 徳一郎	自由民主党	川崎市幸区
谷口 かずふみ	公明党	大和市
土井 りゅうすけ	自由民主党【議長】	川崎市多摩区
とうま 明男	維新の党・無所属	茅ヶ崎市
中村 省司	自由民主党【私立学校審議会会長】	鎌倉市
中村 武人	民主党・かながわクラブ	横浜市区
西村 くにこ	公明党	川崎市川崎区
原 聡祐	自由民主党	横浜市中区
堀江 則之	自由民主党	厚木市
牧島 功	自由民主党	横須賀市
松田 良昭	自由民主党	横浜市区
持田 文男	自由民主党	川崎市宮前区
森 正明	自由民主党	平塚市
山口 貴裕	自由民主党	厚木市
山本 哲	自由民主党	寒川町
米村 和彦	民主党・かながわクラブ	平塚市
渡辺 ひとし	公明党	藤沢市

※五十音順・敬称略

私立中学校高等学校振興大会決議・保護者の願い

保護者会代表 深谷 祥子

(藤嶺学園藤沢中学高等学校PTA担当役員)

本日は黒岩神奈川県知事をはじめ、国会並びに神奈川県議会の議員の先生方には、お忙しい中を臨席賜りまして、誠にありがとうございます。日頃から、私どもの子どもたちが学ぶ私立学校教育の振興発展にお力添えをいただき、心から感謝申し上げます。さて、現在、私立学校とそこに学ぶ子どもたちを取り巻く環境は、さまざまな課題を抱えております。そうした中で私どもが私立学校の保護者として切に望みますことは、何よりも「子どもたちが安心して学ぶことができる、充実した教育環境の整備」でございます。もとより、わが国の将来や神奈川県内の郷土発展のために、子どもたち一人ひとりが立派に成長し、社会の役割を担えるよう育てることは、私ども保護者の責任でございます。一方、私立学校の保護者として何よりも第一に望みますことは、子どもたちのそれぞれが自分の能力や希望に応じて、自ら選択した学校で充実した教育が受けられることでございます。

私ども保護者は、様々な学校の選択肢の中から、私学の独自の教育方針に賛同し、子どもに良かれと考へ、私学に学ばせております。しかし、経済的にゆとりのある家庭ばかりではございません。是非とも家庭の経済状況により自由な学校選択が妨げられることのないよう、私立学校保護者への更なる学費負担の軽減策をお願いしたいと思っております。そして同時に、これまで以上に良質な教育が受けられますよう、各学校に対する「私学助成補助」が充実したものにいたしますことを望んでおります。何よりも予算額が確保されますことが、私立学校に学ぶ子どもたちの教育環境を整備する上で必要不可欠なことと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

本日、私立学校関係者並びに私ども保護者は、私立学校に学ぶ子どもたちの教育環境の一層の改善・充実と私立学校保護者の学費負担軽減のために、次の三点について決議し、ここにその速やかな実現を望みます。ご臨席の議員の先生方におかれましては、何とぞご指導とお力添えをよろしくお願い申し上げます。

- 一つ 私立中学校・高等学校の経常費補助に対する補助率二分の一の継続と補助単価の充実・増額
- 一つ 保護者負担教育費の公立と私立学校間の格差是正と負担の軽減
- 一つ 私立高等学校等の全施設の耐震化に向けた国公立学校と同等の財政支援の拡充と実施

以上でございます。



平成28年度

私学助成の概要

神奈川県次世代育成部私学振興課

私学助成につきましては、県の教育における私立学校の果たしている役割や県内百九万人の児童・生徒等の約二十四％に当たる二十六万人が在学していることを踏まえ、

- ①教育条件の維持向上
 - ②児童生徒の修学上の経済的負担の軽減
 - ③学校運営の健全性の向上
- の三つを柱に様々な助成を従来から行っています。平成二十八年度の概要は次のとおりです。

一 当初予算編成方針

「神奈川県モデル創造発信予算（いざ！ネクストステージ）」と称して、「かながわブランドデザイン第2期実施計画」に掲げる施策を着実に推進し、かながわの魅力を発信するとともに、財政健全化をさらに推進していく予算編成が行われました。

二 一般会計

本県の平成二十八年度一般会計当初予算は、過去最大の二兆百三十七億四千八百万円、二十七年六月現計予算に比べ、四百五十二億三千四百万円、二・三％の増となっています。

三 私学振興費

私学振興費につきましては、六百四億六千四百八十七万五千円で、前年度に比べ、五千五十六万四千円の減となっています。

(一) 経常費補助

私立学校の経常的な経費に対する助成は、標準的運営費方式と補助率を維持しており、四百四十八億六千九百九千円で、前年度に比べ、三億十二万円、〇・七％の増となっています。

校種別では、**高等学校**は、百九十六億九千二百四十万円で、前年度に比べ、二・〇％の増となっています。

中等教育学校は、六億一千三百四十九万九千円で、前年度に比べ、〇・二％の増となっています。

中学校は、五十二億九千二百八十一万九千円で、前年度に比べ、〇・一％の減となっています。

小学校は、二十二億一千八百七十二万七千円で、

前年度に比べ三・〇％の増となっています。

(二) 高等学校等就学支援事業・生徒学費補助・奨学給付金

家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、高等学校等就学支援金及び生徒学費補助により、家庭の教育費負担の軽減を図る事業で、予算額は、就学支援金と学費補助を合わせて、百十億四千五十二万円で、前年度に比べ、六・九％の減となっています。

就学支援金においては、一昨年度から学年進行で進められてきた制度変更が完了し、全学年において年収約九百十万円以上の世帯に対して所得制限が適用される一方、年収約五百九十万円未満の世帯に対して五万九千四百円、加算額が増額することとなりました。

学費補助においては、就学支援金の制度変更に合わせて、全学年の世帯に対して新しい単価が適用となりますが、県内の平均授業料の動向を踏まえて年収約二百五十万円未満の世帯の補助単価を増額し、授業料が県内私立学校の平均である年間四十三万二千円の高校に進学した場合の授業料負担がないよう実質無償化を維持いたしました。

また、就学支援金の制度変更に合わせて一昨年度から始まりました奨学給付金について、私立学校分に関して教育局より予算を付け替えいたしまして、私学振興費に組み入れております。

(三) 生徒学費緊急支援事業費

保護者の失職や倒産等により、家計が急変した児童・生徒の学費負担の影響を軽減するため、授業料を軽減した私立高等学校等に補助するもので、予算額は、二千八百六十六万六千円となっています。

(四) 被災児童生徒就学支援補助金

東日本大震災により被災した幼児児童生徒の授業料等の減免措置を行った私立学校の設置者に対して補助するもので、予算額は、三千三百五十一万円となっています。

(五) 私立学校施設耐震診断調査費補助

児童生徒等の安全確保と災害時の近隣住民の避難施設としての公共性を考慮して、耐震診断調査の促進を図られるよう学校施設の耐震診断調査費

の一部に対し補助するもので、予算額は、九百九十七万二千円となっています。

(六) 私立学校教職員退職金制度補助金

私立学校教職員に対する退職手当金の給付財源の一部を補助し、教職員の福利厚生への支援を図るものです。予算額は、八億八千四百七十六万六千円となっています。

(七) 日本私立学校振興・共済事業団補助金

私立学校教職員の福利厚生への支援を図るため、私学共済の長期給付事業の一部に対し補助するものです。予算額は、六億三百五十三万三千円となっています。

(八) 私学団体助成費

私学保護者会連合会をはじめ私学団体が行っている「いじめ・暴力」関連研修並びに「薬物乱用防止研修」等に対し補助するものです。予算額は、六百四十万円となっています。

(九) 公私立学校協調事業費

公立、私立の枠組みにとらわれず、公教育を担う公私の高等学校が協調を深め、それぞれの特色を生かしながら、共に向上できるよう神奈川の高校展開催事業及び公私教員研修事業等を実施するものです。予算額は、百二十一万三千円となっています。

(一〇) 仕事のまなび場事業費

これまでかながわ県民活動サポートセンターにおいて、専門学校の機能を活用し、高校生等の就労観の育成と職業意識の向上を目指す事業として実施してきました「仕事のまなび場事業」を私学振興課へ移管し、引き続き実施していきます。

(一一) 私立学校国際バカロレア認定取得支援事業費

新しい事業として、グローバル人材の育成に向けて国際バカロレア認定取得に関心のある私立学校に対して、認定校の公開授業や意見交換会を開催し、認定取得を支援していきます。

以上が平成二十八年度当初予算の主な内容です。今後とも、皆様の私学行政に対するご理解とご協力をよろしくお願い致します。

平成 28 年度当初予算私学振興費の概要

私学振興課

事業名等	平成 28 年度		平成 27 年度		比較増減	前年度比	摘 要																												
	当初予算額		当初予算額																																
[]は内数	千円		千円		千円	%																													
1 経常費補助	44,806,109		44,505,989		300,120	100.7	教育条件の維持向上、修学上の経済的負担の軽減及び学校経営の健全性の向上を図るため、私立学校の経常的な経費や特色ある教育への取組みに対して助成する。																												
(1) 高等学校 [教育改革推進費]	19,690,204 [153,260]		19,295,903 [111,460]		394,301 [41,800]	102.0																													
(2) 中等教育学校 [教育改革推進費]	613,499 [6,360]		612,577 [4,080]		922 [2,280]	100.2																													
(3) 中学校 [教育改革推進費]	5,292,819 [75,870]		5,295,182 [55,260]		△ 2,363 [20,610]	99.9																													
(4) 小学校 [教育改革推進費]	2,218,727 [31,440]		2,154,295 [19,200]		64,432 [12,240]	103.0																													
(5) 特別支援学校	518,050		508,019		10,031	102.0																													
(6) 幼稚園 [預かり保育推進費] [地域開放推進費]	15,024,792 [665,380] [191,000]		15,287,652 [644,600] [192,800]		△ 262,860 [20,780] [△ 1,800]	98.3																													
(7) 専修・各種学校	1,448,018		1,352,361		95,657	107.1																													
2 私立幼稚園特別 支援教育費補助	1,591,520		1,678,936		△ 87,416	94.8	障害のある幼児と共に学び、共に育つ保育を推進するため、障害のある幼児を受け入れる幼稚園に対して補助を行う。																												
3 高等学校等就学 支援事業費	7,574,026		8,267,427		△ 693,401	91.6	家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、高等学校等就学支援金及び生徒学費補助により、家庭の教育費負担の軽減を図る。 (就学支援金主な制度変更) 学年進行により全学年適用 年収 910 万円以上世帯所得制限 年収 590 万円未満世帯加算支給など																												
4 私立高等学校等 生徒学費補助	3,466,494		3,594,180		△ 127,686	96.4	(学費補助金の制度変更) 国の制度変更に合わせて全学年に適用 ・授業料 (単位:円)																												
(1) 高等学校等	3,307,672		3,417,291		△ 109,619	96.8	<table><tr><th>区 分</th><th>支援額 合 計</th><th>就学支援</th><th>学費補助</th></tr><tr><td>生活保護世帯</td><td>432,000</td><td>297,000</td><td>135,000</td></tr><tr><td>市町村民税所得割非課税世帯 (年収 250 万円未満世帯)</td><td>432,000</td><td>297,000</td><td>135,000</td></tr><tr><td>年収約 250 万円以上 年収 350 万円未満世帯</td><td>396,000</td><td>237,600</td><td>158,400</td></tr><tr><td>年収約 350 万円以上 年収 590 万円未満世帯</td><td>300,000</td><td>178,200</td><td>121,800</td></tr><tr><td>年収約 590 万円以上 年収 750 万円未満世帯</td><td>193,200</td><td>118,800</td><td>74,400</td></tr><tr><td>年収約 750 万円以上 年収 910 万円未満世帯</td><td>118,800</td><td>118,800</td><td>0</td></tr></table> ・入学金 100,000円(対象は年収750万円未満世帯) ○平均授業料を踏まえ、生活保護世帯、住民税所得割非課税世帯の単価増	区 分	支援額 合 計	就学支援	学費補助	生活保護世帯	432,000	297,000	135,000	市町村民税所得割非課税世帯 (年収 250 万円未満世帯)	432,000	297,000	135,000	年収約 250 万円以上 年収 350 万円未満世帯	396,000	237,600	158,400	年収約 350 万円以上 年収 590 万円未満世帯	300,000	178,200	121,800	年収約 590 万円以上 年収 750 万円未満世帯	193,200	118,800	74,400	年収約 750 万円以上 年収 910 万円未満世帯	118,800	118,800	0
区 分	支援額 合 計	就学支援	学費補助																																
生活保護世帯	432,000	297,000	135,000																																
市町村民税所得割非課税世帯 (年収 250 万円未満世帯)	432,000	297,000	135,000																																
年収約 250 万円以上 年収 350 万円未満世帯	396,000	237,600	158,400																																
年収約 350 万円以上 年収 590 万円未満世帯	300,000	178,200	121,800																																
年収約 590 万円以上 年収 750 万円未満世帯	193,200	118,800	74,400																																
年収約 750 万円以上 年収 910 万円未満世帯	118,800	118,800	0																																
(2) 専修学校高等課程	158,822		176,889		△ 18,067	89.8																													
5 私立学校生徒学費 緊急支援補助金	20,866		22,306		△ 1,440	93.5	保護者の失職や倒産等により、家計が急変した児童・生徒への影響を軽減するため、授業料を軽減した私立高等学校等に対して助成する。 <table><tr><th>高等学校等</th><th>補助額(円)</th><th>小中学校</th><th>補助額(円)</th></tr><tr><td>生活保護相当世帯・年収 250 万円程度未満世帯</td><td>297,000</td><td>生活保護 相当世帯</td><td>168,000</td></tr><tr><td>年収 250 万円程度以上 年収 350 万円程度未満世帯</td><td>237,600</td><td>住民税所得 割非課税</td><td>149,000</td></tr><tr><td>年収 350 万円程度以上 年収 590 万円程度未満世帯</td><td>178,200</td><td>一定所得基 準額以下</td><td>90,000</td></tr></table>	高等学校等	補助額(円)	小中学校	補助額(円)	生活保護相当世帯・年収 250 万円程度未満世帯	297,000	生活保護 相当世帯	168,000	年収 250 万円程度以上 年収 350 万円程度未満世帯	237,600	住民税所得 割非課税	149,000	年収 350 万円程度以上 年収 590 万円程度未満世帯	178,200	一定所得基 準額以下	90,000												
高等学校等	補助額(円)	小中学校	補助額(円)																																
生活保護相当世帯・年収 250 万円程度未満世帯	297,000	生活保護 相当世帯	168,000																																
年収 250 万円程度以上 年収 350 万円程度未満世帯	237,600	住民税所得 割非課税	149,000																																
年収 350 万円程度以上 年収 590 万円程度未満世帯	178,200	一定所得基 準額以下	90,000																																
6 被災児童生徒就学 支援補助金	33,510		33,506		4	100.0	東日本大震災により被災した幼児児童生徒の授業料等減免措置を行った私立学校の設置者に対して補助を行う。																												
私立高校生等奨学 給付金事業費	501,783		0		501,783	皆増	教育局より予算の付け替え 生活保護世帯、住民税所得割非課税世帯の私立高校生等に対し、授業料以外の教育費負担を軽減するため、奨学給付金を支給する。 ・生活保護世帯 52,600 円 ・住民税非課税世帯 第 1 子 67,200 円 第 2 子以降 138,000 円 通信制 38,100 円																												
8 外国人学校生徒等 支援事業費	227,845		202,128		25,717	112.7	外国人学校に通う子ども達が安心して学ぶことができるよう、所得に応じて学費負担の軽減を図るために補助を行う。																												
9 私立学校振興資金 利子補給費	4,410		4,803		△ 393	91.8	教育環境の充実、災害時の安全確保を図るため、私立学校が行う施設整備に対し、その資金の融資あっせんを行うとともに利子の一部を補給する。																												
10 私立学校施設耐震 診断調査費補助	9,972		12,772		△ 2,800	78.1	児童生徒等の安全確保及び災害時の避難施設としての公共性の観点から、耐震診断調査を実施する私立学校に対して補助する。																												
11 私立学校教職員 退職金制度補助金	880,476		866,341		14,135	101.6	私立学校教職員の福利厚生を支援するため、退職手当金給付財源の一部を補助する。 ・補助率 県 18/1000 ・補助率 県 14/1000 ・補助率 県 18/1000																												
(1) 小・中・高等学校 (2) 幼稚園 (3) 専修・各種学校	484,911 328,750 66,815		495,172 307,618 63,551		△ 10,261 21,132 3,264	97.9 106.9 105.1																													
12 日本私立学校振興 共済事業団補助金	603,053		609,742		△ 6,689	98.9	私立学校教職員の福利厚生を支援するため、私学共済の長期給付の一部を補助する。 ・補助率 県 8/1000																												
13 私学団体助成費	6,400		6,200		200	103.2	私立中学高等学校協会他 4 私学団体の研修事業費等の補助及びその他 2 団体への賛助金。																												
14 公私立学校 協調事業費	1,213		1,305		△ 92	93.0	公私立高等学校による協調事業を実施する。 ・神奈川の高校展事業 1,080千円 ・公私教員研修事業 133千円																												
15 私立学校国際バカロレア 認定取得支援事業費	1,203		0		1,203	皆増	グローバル人材の育成に向けて国際バカロレア認定取得に関心のある私立学校に対し、既に認定を取得している学校の公開授業や職員同士の意見交換会を開催し、認定取得を支援する。																												
16 仕事のまなび場事業費	2,000		0		2,000	皆増	県民活動サポートセンターより予算の付け替え 専門学校における職業教育に関連した体験学習プログラムを活用し、高校生等の就労観の育成と職業意識の向上を図る。																												
17 その他	733,995		709,804		24,191	103.4	・私立学校審議会費ほか																												
合 計	60,464,875		60,515,439		△ 50,564	99.9																													

研修事業Ⅰ

● 平成27年10月20日(火)

「富岡製糸場見学研修ツアーを終えて」

神奈川県私学保護者会交流会 代表 石田 隆

今年の研修事業は、昨年世界遺産に登録され、日本の近代化の礎となった富岡製糸場の見学を中心に行いました。参加者は交流会と連合会の方々の約90名で、横浜駅西口からバス2台(満席)に分乗して出発しました。往路は昨年開通した圏央道を利用しましたが、渋滞もなく、途中のパーキングでは心地よい秋風を感じ、バスガイドさんとの意気もぴたり合い、車中では和気藹々と情報交換など交流の輪が広がりました。

昼前にツアーバスは群馬県のコニヤクパークに到着し、2班に分かれて記念写真を撮りました。掲載されている集合写真はその時のものです。ここではビュッフェスタイルのランチを取り、コニヤク工場の見学やお土産の購入などをした後再びバスに乗り15分ほど先の目的地へ向かいました。

富岡製糸場到着するとすぐ解説員(男性のガイドさん)の方より見学に際し抑えておくべき2通りの概要・歴史・確認事項のレクチャーを受けます。見学が始まり、最初に目を見張ったのは、流麗な西洋風フランス張りの凛としたりっぱな煉瓦建屋でした。横浜のレンガ倉庫とは趣の違う素晴らしさがあります。次に屋内に入場すると、白を基調とした木梁の骨組や内装そして鉄製の窓枠のガラス窓が明るい大空間を実現していました。それまで天井の低いガラス窓のない建物しか知らない当時の方々は、さぞ驚かれたことと思います。更に、建屋内では創業停止時のままの工作機械が歴史を感じる静けさの中に整然と配置されています。当時フランス人ブリュナ氏指導のもと、この工作ラインが稼動し世界一良質な絹製品を生産していた光景を想像すると近代文化の幕開けがここから始まったことを実感いたしました。製糸場周辺の散策そしてお土産の購入を終え帰路へ。車中では各学校の代表皆様と和やかに意見交換させていただきほぼ予定通りの夕方横浜駅西口に到着いたしました。今回の研修旅行に参加された皆様



【2号車バス内の一言感想】

- ・役員さん、ありがとうございました。
- ・5月で創立百周年を迎えるにあたり今年は、PTA活動が盛り上がりつつあります。振興大会にも多数参加予定です。
- ・美味しいお弁当こんなにやうパークのバイキングも美味しかったです。
- ・大変満足しました。役員さんありがとうございました。
- ・カメラマンとして参加しました。
- ・楽しい一日でした。
- ・バイキングは楽しかった。
- ・良いところの企画をしてもらい参加したい。
- ・初めて参加した。
- ・製糸場のガイドさんがとてもわかりやすくよかったです。
- ・製糸場のガイドさんが上手でよかったです。
- ・楽しく過ごさせてもらって。
- ・製糸場に行けたことがとてもよかったです。また、参加したい。
- ・富岡製糸場世界遺産にれてよかった。

が、今回の共催事業を通して親しく見聞を広めることが出来たならば幸いに思います。

《二言》

富岡製糸場は明治5年の設立より多くの困難にあつたにもかかわらずご承知の通り先代の方々の努力により取壊されることなく維持し守られてきました。この世界に誇れる日本の重要文化財・国宝としてユネスコに登録された世界遺産を、今を生きたる私達の社会的責任として次世代に繋げていくことが大切であることを改めて再認識するものとなりました。

恒例の親睦研修ツアー事業は、神奈川県私学保護者連合会との共催事業として行われております。最後に、研修ツアーの無事終了にあたり、共催いただいた私学保護者会連合会並びに神奈川県私立中高協会の先生方、関係者皆様に深く感謝申し上げます。



我が家でオープン! 『夕二夕食堂®』

「お子さんの食生活を見直してみませんか?」

株式会社タニタから参りました管理栄養士の鹿沼と申します。
お子様方の健康とか食事に関する話だけではなく、もちろんお母様方とかご主人様方、皆様すべて元気で健康であるためには日々どんなことに気をつけて、どんなことを頑張れば元気で健康になれるのかなというお話しをしていきたいと思います。

健康のために何が大切か、今は毎日のようにテレビ・雑誌等で頭が良くなるとか、元気になるとか色々な情報が氾濫しております。何をどうすればいいのか混乱されている方も多いと思いますが、食事と運動と休養、この3本柱が最も重要と考えております。とても漠然としていますが食事に気をつけていても一生懸命運動をしても、睡眠不足だったりとか日々お休みが取れなかつたりすると健康を害します。休めと食事をしっかりとれども、体を動かさなかつたりしても健康を害します。食事・運動・休養、この3本柱を念頭に置いていただければと思います。

体脂肪計タニタの社員食堂のメニュー作りのコツについてのお話しです。1999年にタニタ食堂はオープンしましたが当初は味が薄いか、まずいとか、あまり評判が良くなくて、大変残食、残り物が多かったと聞いております。そこで社員、調理師、同奮起してできたのがタニタ食堂の始まりとなっています。大きな特徴ですが、エネルギーが1食500キロカロリー前後です。塩分なんと3グラム前後です。お野菜はですね、1日350グラム取って欲しいと国は言っていますが、一食で半分ないしは半分以上が取れてしまうといったメニューになっております。

ご家庭では、常に3つのお皿を意識していただきたいです。主食・主菜・副菜です。主食はご飯、パン、麺で炭水化物が取れます。主菜はメインのおかずで肉やお魚、大豆製品やたまごとかタンパク質と脂質が取れます。副菜はお野菜とか海藻、きのこでビタミンやミネラル、食物繊維が取れます。例えばいつも、1品料理が多くなってしまう。カレーとかチャーハンとか。親子丼とか。一個ですらね。一つのお料理が多くなると、例えばそのお料理がひとつ、一個だったとご飯主食があつて主菜、お肉が入っていますけれど、お野菜がじゃがいもとかにじんくくらいで足りませんので、副菜のサラダを少し多めにしたいだいたりと、チャーハンだほとんどご飯なので、お野菜やタンパク質が足りませんのでサラダにツナとかたまごを足したり、スープを足していただいたりという風に意識をしていただくと、バランスは良くなっていくと思います。特に副菜ですが国民栄養調査では20代から70代まで、各年齢層の細かい食事の状態を見ているのですが、どの年齢層でもお野菜、350グラム取れている年齢層は0です。日本人はお野菜350グラム取れていないというのが現状のようです。皆様、両手を前に出しているだけでもいいと思う。手計りを紹介したいと思います。特に主食に関しては大人限定という風に目安にして

いただければと思います。では主食いきますね。ご飯はちょうどお水を掬うように手をぎゅつと寄せていただいて、親指も寄せていただいて、ここに上からはみ出さない程度にふんわりよそったくらいがその方の1食あたりのご飯の適量といわれています。

体の大きな、手の大きな男性はそれだけ食べて大丈夫ということになります。主菜はですね手をびたつと親指もくつつけていただいて、この上に高さ1センチくらい乗るくらいです。お肉が乗って卵が乗ったり、お魚が乗って豆腐が乗ったりなんです。お肉に。割と高齢の方が多いのですけれど、尿酸値が気になるからあまり肉は食べないよという方もいらっしゃるんですが、タンパク質は必要です。毎食ここに乗るくらいは食べていただきたいと思ひます。副菜ですが両手を広げてお盆を作った感じで、ここにさつと乗るくらいが一日の生の状態の野菜・海藻・キノコの適量といわれています。一食ですと生の状態の野菜を作った感じで、バーの上に乗るくらいが一食あたりの適量です。例えばお料理として出す場合、野菜ソムリエの方ですと、グーを五個分なんている。小鉢五個分とか、グー五個分を朝に一個、昼に二個、夜に二個という風に目安にしていたのだというお野菜350グラム網羅できますよ、と言われていました。



お料理紹介です。丸の内ではどういったメニューが出されているのかということで、メニューの紹介です。アスパラと豚肉のオイスターソース炒め定食です。豚肉はお醤油とお酒で軽く下味を付けておきます。カリフラワーとグリーンアスパラは下茹でせずに直に炒めています。最後にオイスターソースで炒め合わせています。豚肉はもも肉を使っているのですけれども、お醤油とお酒と片栗粉と油を少量下味に使って揉み込んでいます。ほどよいとろみも付いて、尚且つ味が中に逃げにくいので、オイスターソースだけの味でも薄くなりません。中華風五食炒めはきのこや春雨をこま油でさつと炒めています。サツマイモとリンゴの重ね煮も、意外に人気メニューです。さつまいもとリンゴと、お砂糖はほんのちよつとです。そしてひたひたのお水にレーズンを入れて煮ています。ほほ汁気がなくなつたくらいのところ、最後にヨーグルトを入れます。温かい内なので、えーと思われそうですよ? ところが汁気がある時に入れるとベシベシになってしまふので、汁気を飛ばしたくらいのところ、温かい時にヨーグルト、プレーンのヨーグルトを入れるとお砂糖が少なくてもヨーグルトの爽やかさとレーズンの甘みが出る、爽やかな人気のメニューです。鯖のカッテージチーズ焼きは、鯖にカッテージチーズとお醤油と細ネギをちよつと混ぜたものを乗せて、オーブントースターで焼いただけのメニューです。

鯖がふつから仕上がるのでお子様にも人気で、取り入れやすいと思います。お子様方はご飯の量を多めにしたり、お肉の量を少し多めにするなんていう風にしていただければと思います。

カロリーの注意は三つの「あ」です。油・アルコール・甘いものには気をつけましょう。この辺りは注意をしないといけないと思います。嗜好品は大体200キロカロリーを超えないくらいで取っていただければいいです。それじゃあさつきの390キロカロリーのケーキは食べちゃだめなのって聞かれますが、そんなことないんですよ。美味いものを召し上がっていただいて、明日はおせんべい3枚食べていたのを一枚にするとか、今日の夕飯は軽めにしていただければ、十分なのでその辺の調整は上手に行っていただければと思います。

意外に飲み物が落とし穴で、お子様方は炭酸飲料とかスポーツドリンクよく飲まれますよね。どれくらいお砂糖入っているかと言いますと、ステックシガー一本がだいたい3グラムです。缶コーヒー一本で8本人つてゐます。炭酸飲料でも8本人つてゐます。更にスポーツドリンク、夏場よく飲みますよね。スポーツドリンクもお砂糖多いんですよ、急上昇して急降下すると夏バテしやすいですよと先程お伝えしましたが、運動部で汗をたくさんかくお子様方はスポーツドリンク飲まれるのも一つだと思ひますが、普段おうちにいる時にのどが渇いたからといって甘い飲み物を飲まれるというのは控えた方がいいですね。

夕食での子世代は主菜の量で調節し、副菜を減らさないように。果物や乳製品を食べましょうという事です。そして成長ホルモンのゴールデンタイムはですね10時から2時くらいです。大人もなんですがこの時間にしっかりと深い眠りに入りましょうという事です。深い眠りに入ると成長ホルモンが若々しく出るとアンチエイジングでいつもでも綺麗に若々しくいられるので、まずこの時間にしっかりと寝る、という事を心掛けていただければと思います。ダイエツトとかメタボとかこんな効果もありますよと言つてゐます。

三食しっかりと食べると言つてゐます。そして10時から2時の間によく寝ましょう。夜更かしをせずにしっかりと早めに寝る、休養をしっかりと取るということも必要になってくると思ひます。皆様熱心にお耳を傾けていただきまして、私も楽しくセミナーをさせていただきました。

神奈川県私学保護者会連合会 理事 吉成 みち子 (横須賀学院教育賛助会会長)

メディアでもおなじみの「夕二夕食堂」から講師をお招きし、子どもたちの食生活をテーマに講演会を開催しました。「体は食物によってしか作れない」「外食・コンビニ食も工夫次第」など、大学生の母親でもある鹿沼氏は熱心に語られ、参加者も真剣に聞き入っていました。

当日は好天に恵まれ、県下を一望できる休養会場で、互いの学校や地域の方角を指し示しながら交流を楽しむ姿も見られました。今後、ますます多くの方が研修事業に参加くださることを願っています。

「私学振興全国大会」に参加して

平成27年12月1日(火)東京都日比谷公会堂

神奈川県私学保護者会連合会

副会長 鴨下 博厚

(洗足学園中学高等学校 洗足会会長)

平成26年度の全国大会は、直前に衆議院が解散され、選挙の公示日と重なったことから中止となったため、今回は2年ぶりの開催となりました。当日は好天に恵まれて12月とは思えないほどの暖かさとなり、会場外での待ち合わせは、日比谷公園の素晴らしい景観のおかげで楽しい時間でした。

大会には全国から二千人を超える保護者や私学関係者が参加され、会場は空席を見つめるのが大変なほどの盛会となりました。大会の壇上には、来賓として政権与党を代表する議員の方々が並び、私学に対する一層の支援を願う参加者の想いに熱心に耳を傾けていたことが印象的でした。次第に沿って議事は進み、政府予算に関して、

- ① 経常費助成費等に対する補助の拡充強化
- ② 私学施設耐震化支援
- ③ ICT環境の整備支援
- ④ 就学支援金の拡充強化
- ⑤ 私立中学校生徒への公的支援制度の創設
- ⑥ 教員資質向上の補助金の拡充

の6点を要望しました。最後に決議案を採択して、熱気に包まれた大会は終了となりました。

私学への支援は、まだまだ拡充する必要があります。この大会は、参加した保護者と私学関係者の願いを直接届ける場であり、今回の開催も非常に有意義な機会となりましたことを報告いたします。



いじめ暴力行為問題 対策協議会

平成28年3月7日(月) 私学会館講堂

神奈川県私学保護者会連合会 副会長 原 大蔵

(聖光学院中学高等学校 後援会理事)

3月、県いじめ暴力行為問題対策協議会の講習会に参加した。今回はスマホを使っている人の9割の人が利用しているといわれるLINE(株)より講師に来ていただき、人間関係のトラブル回避の方法を中心とした講義をしていただいた。こういったSNSの会社は今あちこちこういった講義をして、トラブルを未然に防ぐ努力もしなければならぬようだ。

一時間半にわたって講義は行われたが、その中で印象に残ったのは、子供たちは人との違いに対する認識が未熟で弱く、それがいじめにつながっていくことだった。大人の世界でもそうだが、常識に近いメジャーな価値観を逸脱すると、その中心にいる人たちはその価値観を守るために、そこから外れた価値観を排除しようとする人間が多様な価値観を感じた経験が少ない子供たちは、なおさらその傾向が強くなるのは当然である。

この問題を解決するには、人の数だけ価値観があり、自分の価値観もその一つに過ぎないことを理解することである。そのためにも、さまざまな人と幼い頃からいやな思いもしながら採まれていく事が大事なのではないか。しかしながら、現在の社会は、人と深くかわって傷つく事に対する恐怖心が、大きな幅を利かせ、そこから得られる大切なものを、必要以上に見えないところから押しやっっているように見える。これが子供たちには、教師の価値観を子供たちに押し付けるのはもちろん、それを主張するだけでも批判の対象となる。大人の社会以上に人がかかわりにくい環境かもしれない。

子供たちが人との違いを理解するには、教師も生徒もお互いの価値観をぶつけ合い、お互い理解しあうことが必要だ。私立学校には、どの学校にも教育理念や建学の精神があり、それは人間で言う価値観である。その学校の価値観を受け入れる覚悟を持っていることが前提で生徒は入学してくる。だからこそ教師と生徒として生徒同士がそれぞれの主張をしてぶつかり合うことができるのではないか。そして相手との違いを理解し、違いを受け入れる能力も身につく。

この人間形成の大切な時期に、その環境を提供するひとつとして私学の果たすべき役割を再確認した。



主な行事への出席

- ◆9月11日(金) 神奈川県私学退職金財団50周年記念事業
- ◆10月20日(火) *横浜ロイヤルパークホテル(佐藤会長)
- ◆10月20日(火) 研修事業Ⅰ「富岡製糸場見学研修ツアー」
- ◆10月19日(月) *ここにやくパーク(保護者会71名、交流会18名)
- ◆10月19日(月) 寒川県エイス対策推進協議会 *横浜市開港記念会館(玉園顧問)
- ◆11月12日(木) かながわ青少年社会環境健全化推進会議
- ◆11月22日(金) *JPC川崎駅前広場(深谷理事)
- ◆11月22日(金) かながわ青少年社会環境健全化推進会議
- ◆11月24日(火) *日産スタジアム(鴨下副会長)
- ◆11月24日(火) 神奈川県私立中学校・高等学校 振興大会
- ◆11月25日(水) *バシフィック横浜 会議センター メインホール
- ◆11月25日(水) (議員65名、県知事部局3名、学校参加1006名、合計1074名)
- ◆11月30日(月) 黒岩祐治君を励ます会2015 *ロイヤルホール ヨコハマ
- ◆11月30日(月) (佐藤会長、深沼副会長、他役員3名)
- ◆12月1日(火) 神奈川県県政削減実行委員会 *県庁会議室(前泊監事)
- ◆12月1日(火) 私学振興全国大会 *日比谷公会堂(保護者会74名)
- ◆12月1日(火) 松田良昭かながわ元気フォーラム
- ◆1月17日(火) *ロイズホテル横浜(佐藤会長、他役員4名)
- ◆1月17日(火) 神奈川県高等学校総合文化祭閉会式 *県立青少年センター(佐藤会長)
- ◆1月29日(金) 神奈川県交通安全対策協議会
- ◆2月16日(火) *横浜情報文化センター(市川会計理事)
- ◆2月16日(火) 研修事業Ⅱ「我が家でオープン!」【タニタ食堂】鹿沼敦子氏講演
- ◆2月18日(木) *横浜ロイヤルパークホテル(保護者会105名、交流会8名)
- ◆2月18日(木) 東京都私立父母の会中央連合会創立50周年式典
- ◆3月23日(水) *ハイアットトリージェンシー東京(佐藤会長)
- ◆3月23日(水) かながわ青少年社会環境健全化推進会議 *波止場会館(深谷理事)

これからの行事予定

- ◆5月10日(火) 平成27年度保護者会連合会「会計監査」
- ◆5月20日(金) *私学会館(浅見・市川会計理事、金子・前泊監事)
- ◆7月21日(木) 平成28年度「定時総会」 *崎陽軒本店
- ◆8月26日(金) 日本私学保護者会連合会総会 *名古屋市
- ◆8月26日(金) 関東地区私学保護者会連合会・代表者会
- *横浜ロイヤルパークホテル

神奈川県私立中学高等学校案内 ホームページ

<http://www.phsk.or.jp>

●内容 学校情報・入試情報・英文情報・学費補助

■発行者 『神奈川県私学保護者会連合会』

〒221-0833

横浜市神奈川区高島台7番地5 神奈川県私学会館内

☎045(321)1901

■印刷所 『有限会社 イソノ』

〒235-0016

横浜市磯子区磯子3-10-4

☎045(753)2549